

2. 県の広報・広聴活動

(1) 県の広報活動の認知状況

問9 あなたは、次にあげる県の広報を読んだり、見たり、聴いたりしたことがありますか。1～9のそれぞれの項目についてお答えください。(○はそれぞれ1つつつ)

広報誌「滋賀プラスワン」

(新聞折り込みで全戸配布 毎月1日発行・県ホームページにも掲載)

■ 閲読・視聴率 は53.3%、周知率 は86.6%

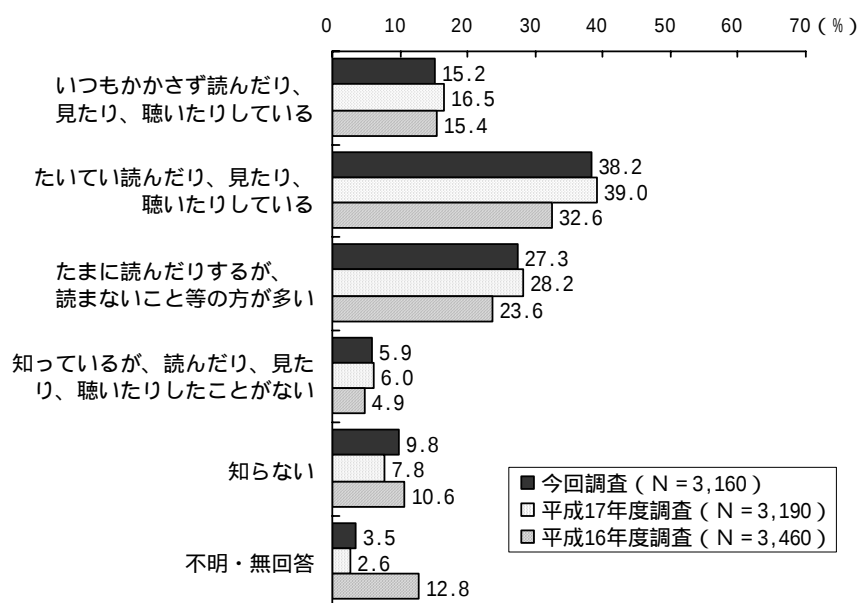
閲読・視聴率：「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」と「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」の合計。

周知率：閲読・視聴率に、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多く」と「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」を合わせたもの。

広報誌「滋賀プラスワン」については、「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が最も多く38.2%であり、次いで「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多く」が27.3%となっている。

「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は15.2%となっている。

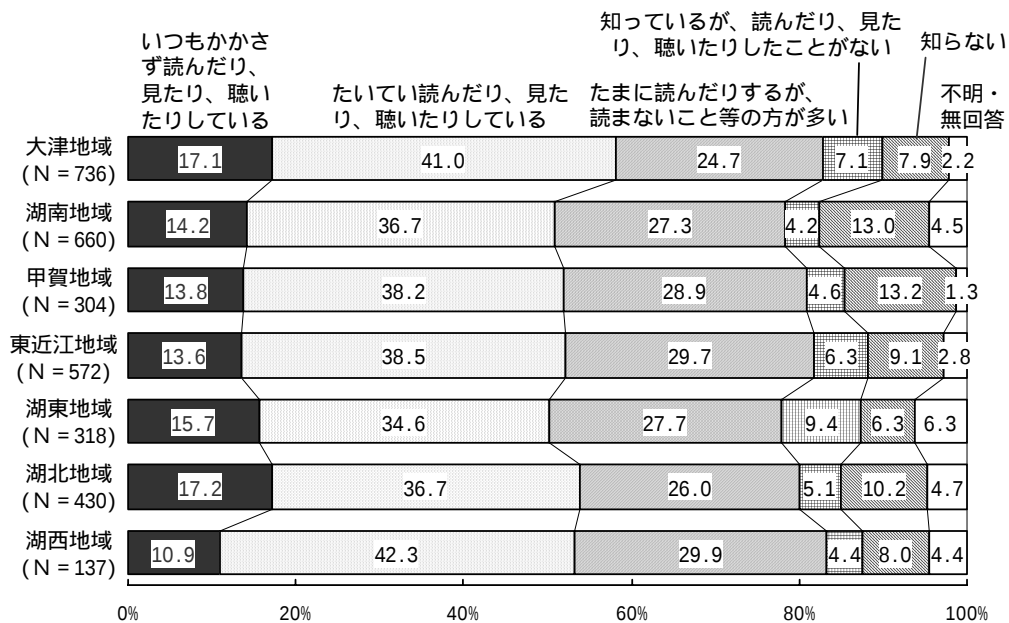
平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は2.2ポイント低下し、『周知率』も3.1ポイント低くなっている。



【地域別】

全ての地域で「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が最も多くなっている。

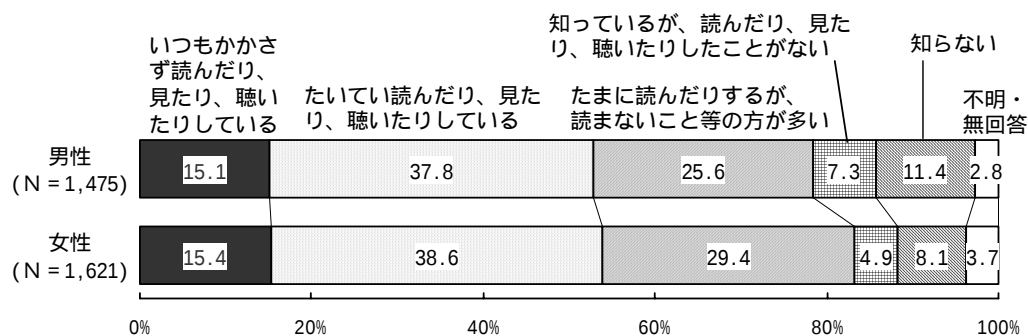
『閲読・視聴率』は大津地域が最も高く58.2%となっており、『周知率』でも、大津地域が最も高く89.9%となっている。



【性別】

男女とも「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が最も多く、男性37.8%、女性38.6%となっている。

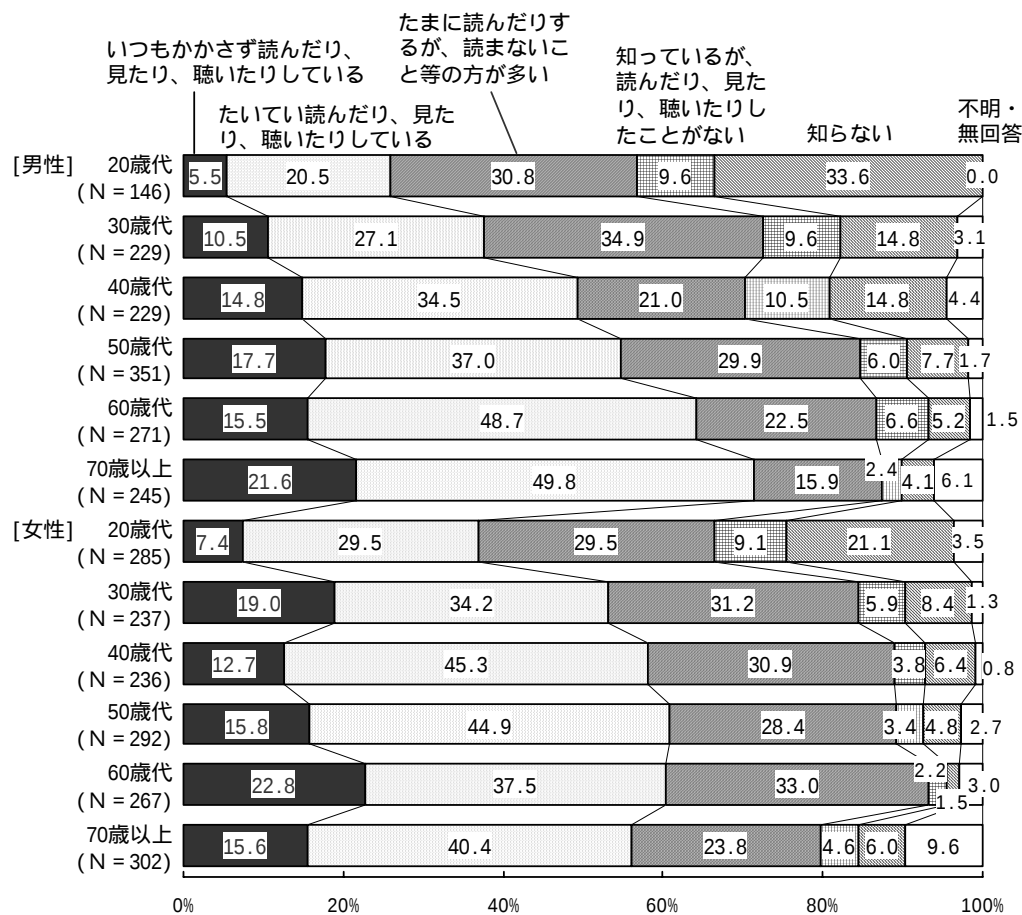
『閲読・視聴率』、『周知率』ともに女性のほうが高くなっている。



【性・年代別】

男性では年代が高くなるほど『閲読・視聴率』の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上では71.4%となっている。『周知率』も同様の傾向がみられ、20歳代（66.4%）で最も低い。

女性では『閲読・視聴率』は50歳代が60.6%で最も高く、僅差で60歳代が60.3%と続いており、『周知率』は60歳代が95.5%で最も高くなっている。20歳代では『閲読・視聴率』、『周知率』ともに最も低く、それぞれ36.8%、75.4%となっている。



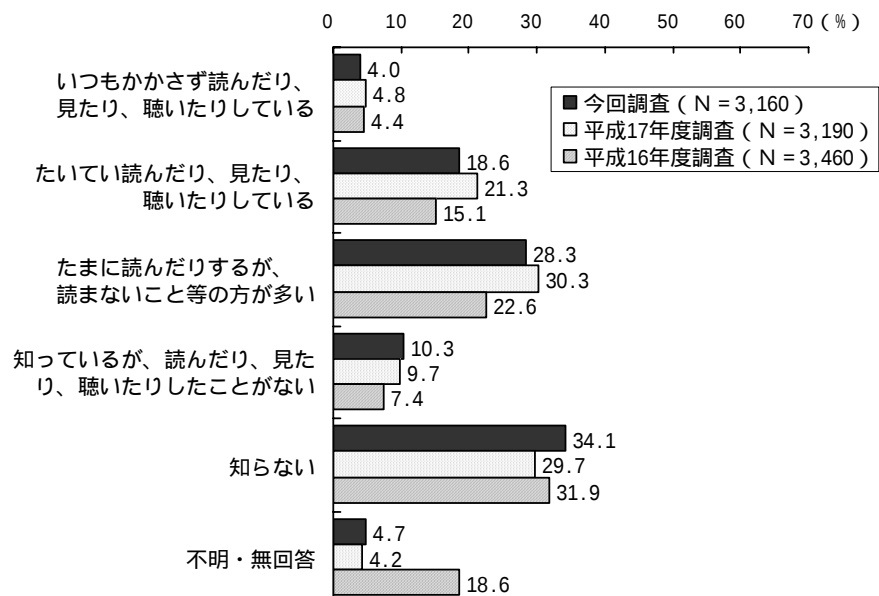
県政に関する新聞広告（毎月最終日曜日の新聞の県内版下部5段）

■ 閲読・視聴率は22.7%、周知率は61.2%

県政に関する新聞広告については、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多く28.3%であり、次いで「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が18.6%となっている。

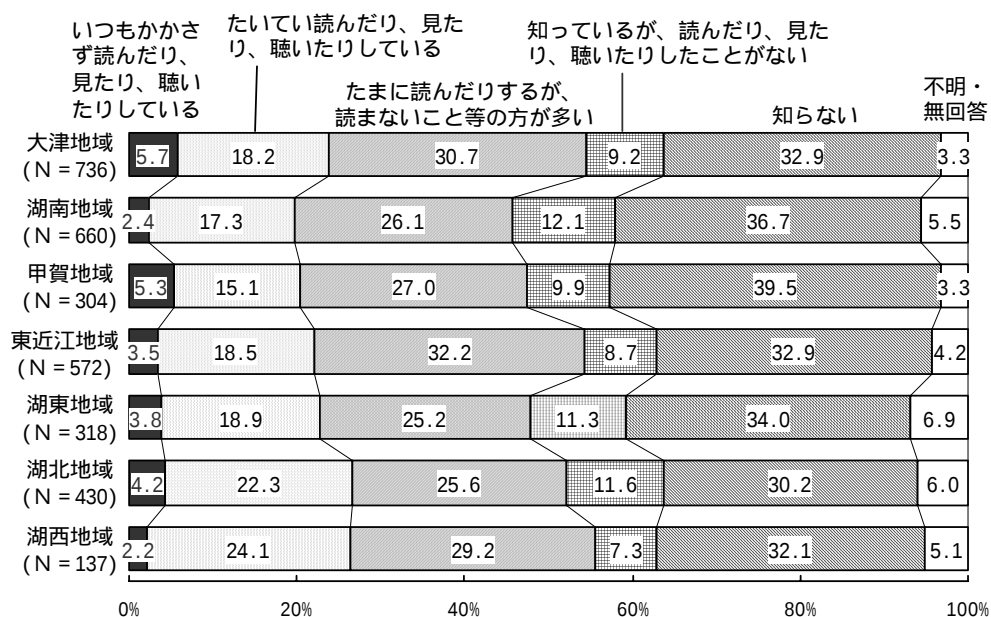
「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は4.0%となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は3.4ポイント低下しているが、『周知率』は4.8ポイント高くなっている。



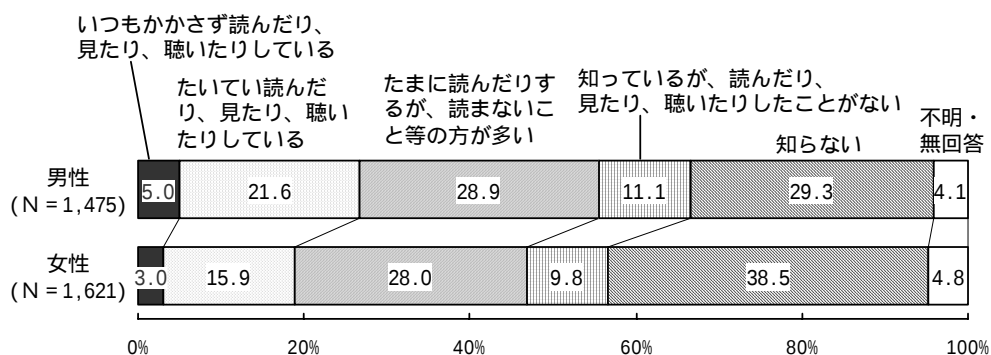
【地域別】

『閲読・視聴率』は湖北地域が26.5%で、次いで湖西地域の26.3%となっており、『周知率』は大津地域の63.9%が最も高く、次いで湖北地域が63.7%となっている。



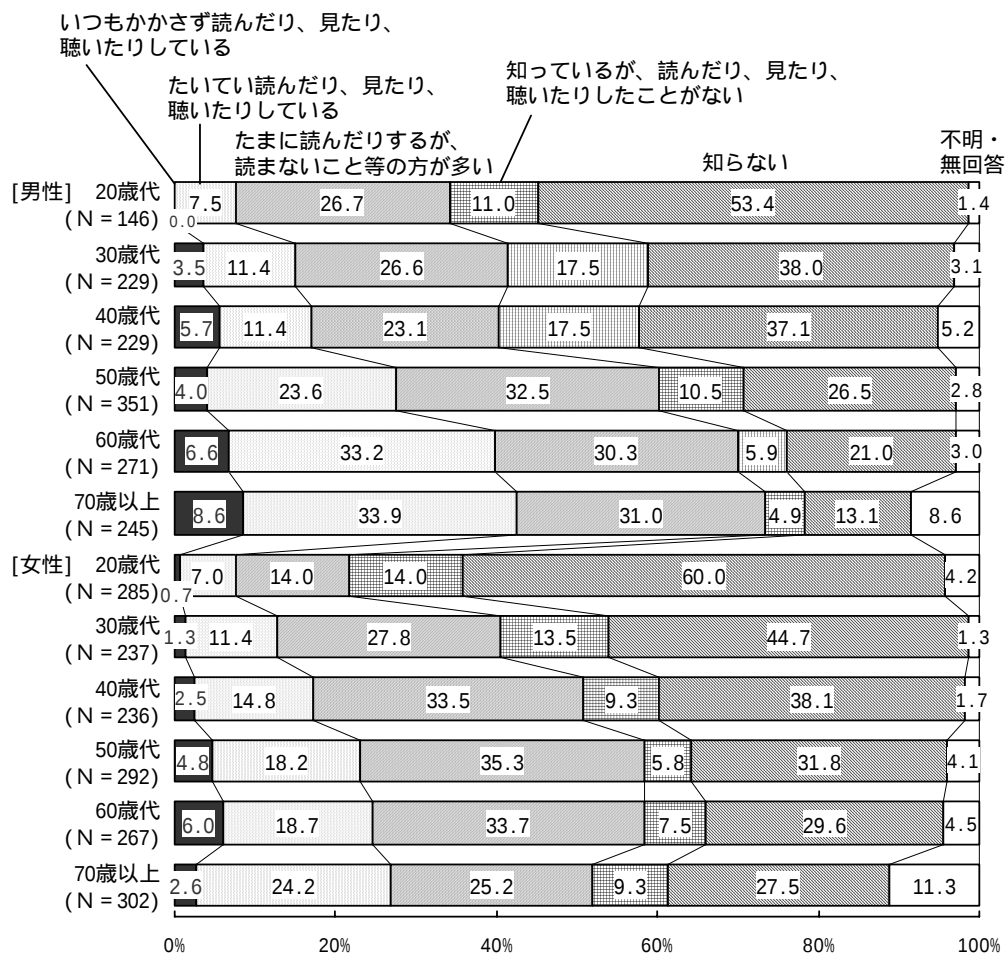
【性別】

『閲読・視聴率』、『周知率』とも男性のほうが高く、『閲読・視聴率』は男性26.6%、女性18.9%で、『周知率』は男性66.6%、女性56.8%となっている。



【性・年代別】

男性では『閲読・視聴率』、『周知率』とも年代が高くなるほど割合が高くなっており、女性でも『閲読・視聴率』は年代とともに高くなっており、『周知率』は60歳代（65.9%）が最も高い。



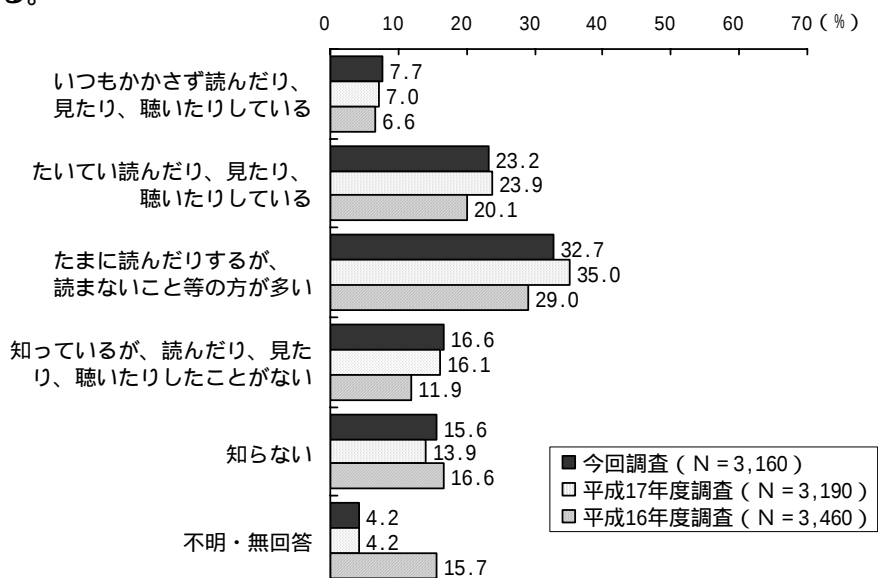
県議会広報紙「議会だより」(新聞折り込みで全戸配布 年4回)

■ 閲読・視聴率は30.9%、周知率は80.2%

県議会広報紙「議会だより」については、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多く32.7%であり、次いで「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が23.2%となっている。

「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は7.7%となっている。

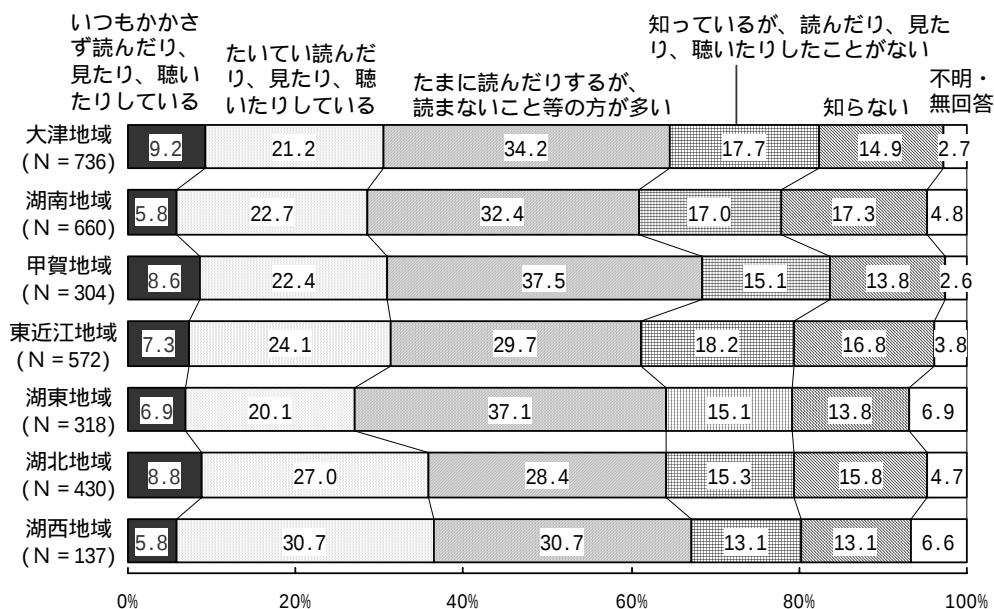
平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は同率で、『周知率』は1.8ポイント低下している。



【地域別】

全ての地域で「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多くなっている。

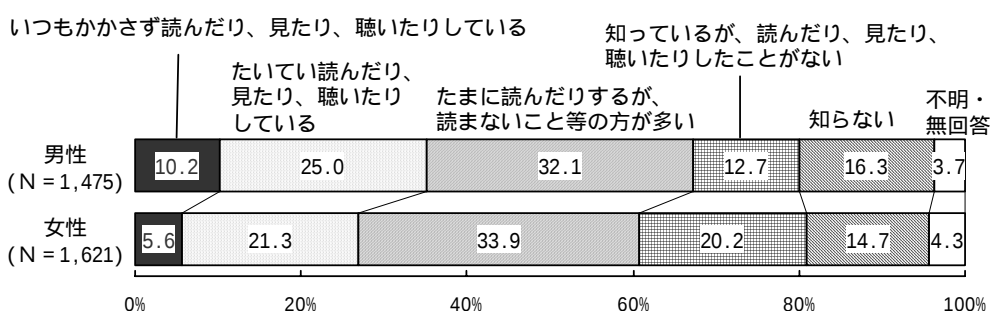
『閲読・視聴率』は湖西地域で最も高い36.5%となっており、『周知率』については甲賀地域で最も高い83.6%となっている。



【性別】

男女とも「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多く、男性32.1%、女性33.9%となっている。

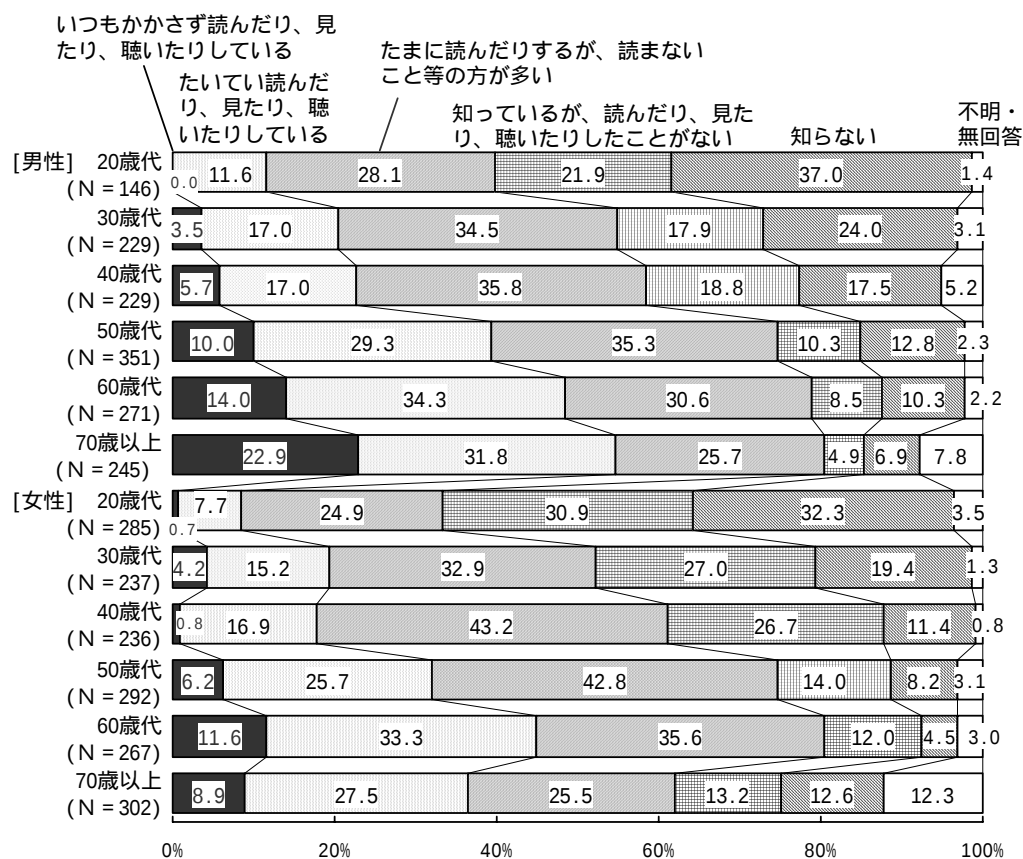
『閲読・視聴率』は男性35.2%、女性26.8%と男性のほうが8.4ポイント高いが、『周知率』は男性80.0%、女性81.0%と女性が1.0ポイント高くなっている。



【性・年代別】

男性の『閲読・視聴率』は年代が高くなるほど割合が高くなっている。『周知率』でも同様の傾向がみられるが、60歳代で最も高い87.5%となっている。

女性の『閲読・視聴率』は20～40歳代で2割以下となっており、『周知率』は40～60歳代で9割前後を占め、60歳代（92.5%）で最も高くなっている。



テレビ番組「県政テレビタ刊プラスワン」

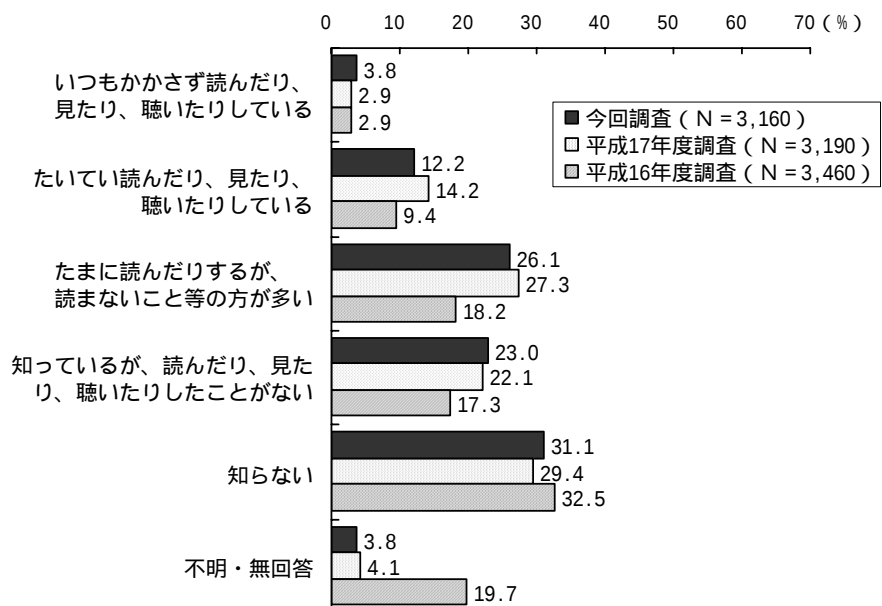
(びわ湖放送 月～金曜日 18:45～18:50(再)22:55～23:00)

■ 閲読・視聴率は16.0%、周知率は65.1%

テレビ番組「県政テレビタ刊プラスワン」については、「知らない」が31.1%と最も多く、次いで「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が26.1%となっている。

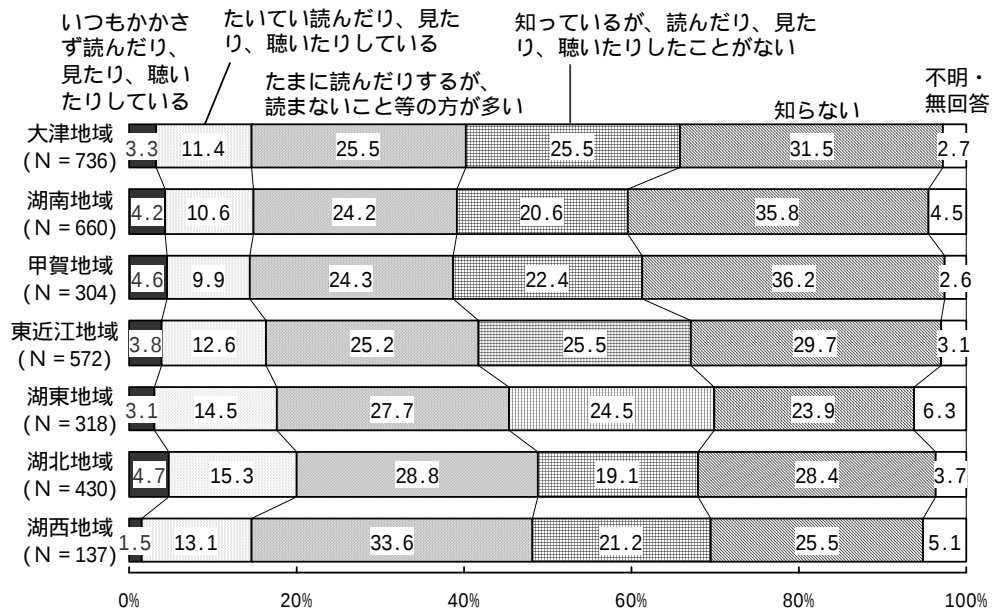
「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は3.8%となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は1.1ポイント低下しており、『周知率』も1.4ポイント低くなっている。



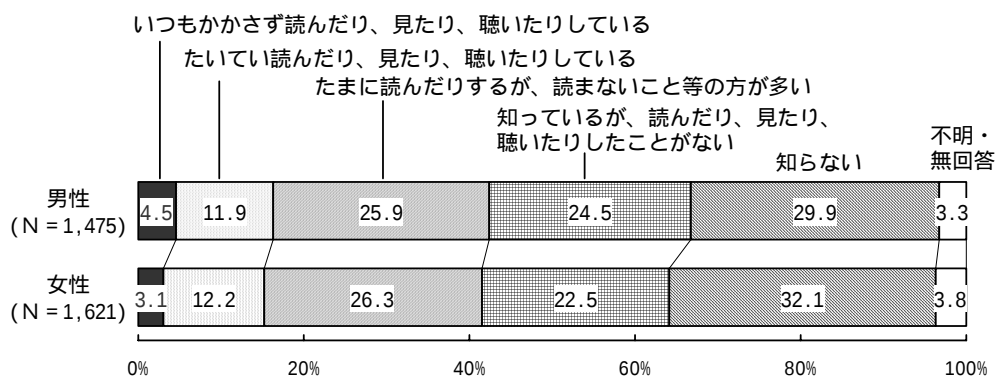
【地域別】

『閲読・視聴率』はいずれの地域も20.0%前後となっており、湖北地域が20.0%で最も高い。『周知率』は湖南地域を除いて60%台となっており、湖東地域が69.8%で最も高い。



【性別】

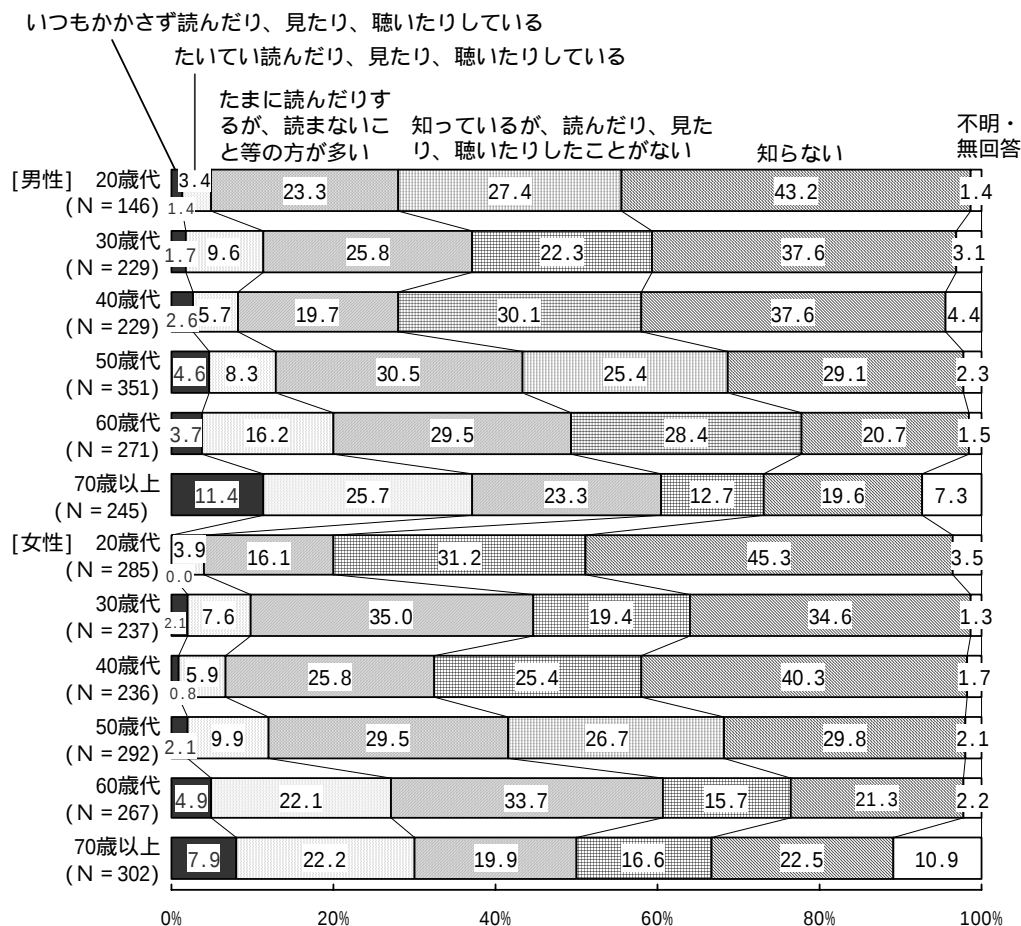
『閲読・視聴率』は男性16.4%、女性15.3%であり、『周知率』は男性66.8%、女性64.1%となっており、ともに男性の割合が女性より高い。



【性・年代別】

男性の『閲読・視聴率』は70歳以上で37.1%、次いで60歳代の19.9%で、『周知率』は60歳代で最も高い77.9%となっている。

女性の『閲読・視聴率』は、70歳以上が30.1%、次いで60歳代の27.0%で、『周知率』は60歳代で最も高い76.4%となっている。



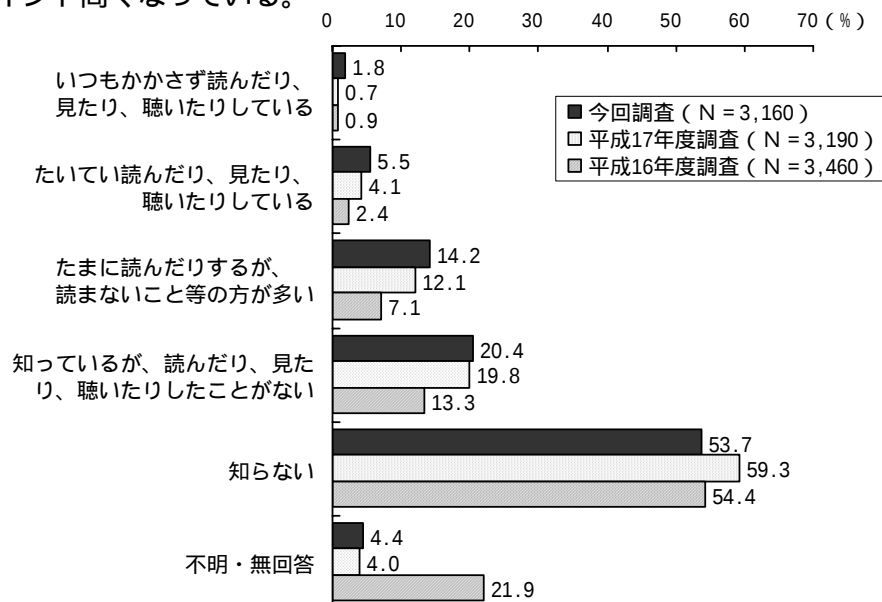
テレビ番組「得ダネ！滋賀だより」(KBS 京都 毎月第3金曜日 11:15～11:22)

■ 閲読・視聴率は7.3%、周知率は41.9%

テレビ番組「得ダネ！滋賀だより」については、「知らない」が最も多く53.7%となっている。次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が20.4%となっている。

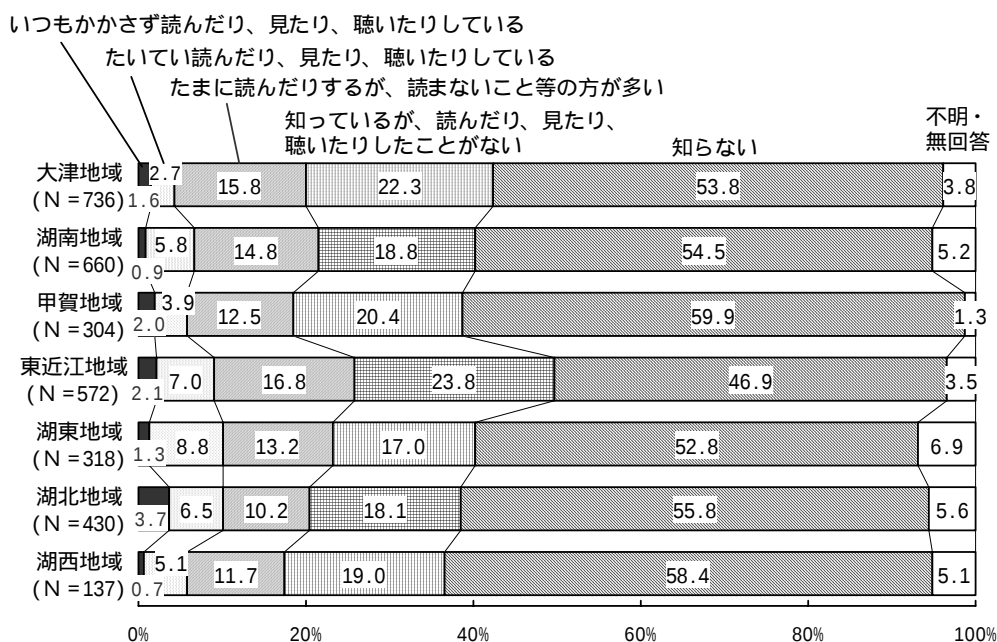
「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は1.8%となっており、『周知率』は全体の約4割となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は2.5ポイント高くなっており、『周知率』も5.2ポイント高くなっている。



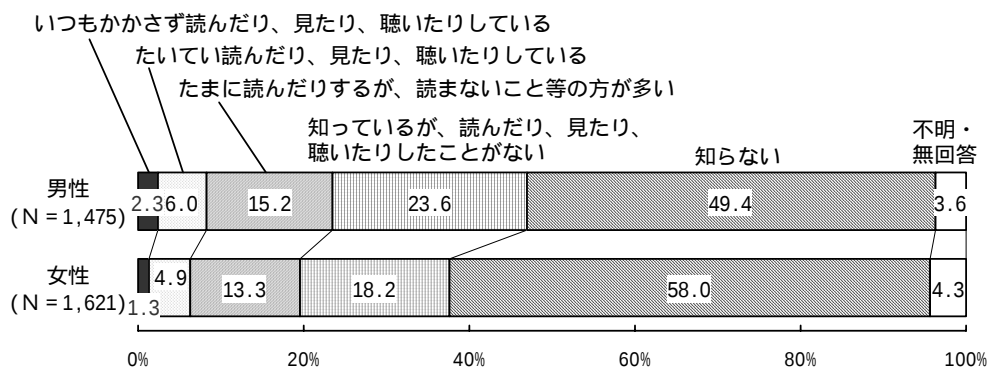
【地域別】

『周知率』は東近江地域で49.7%と最も高くなっている。『閲読・視聴率』は、湖北地域が10.2%で最も高く、大津地域が4.3%で最も低くなっている。



【性別】

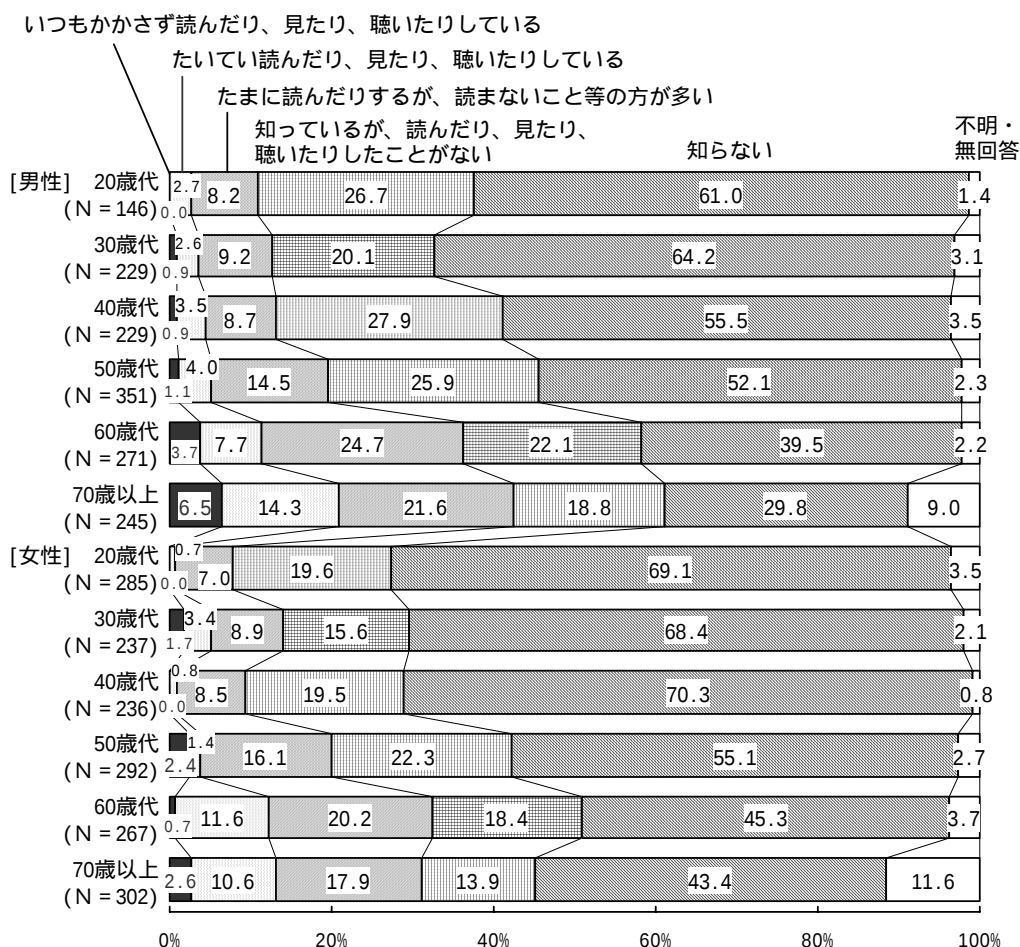
『閲読・視聴率』は、男性8.3%、女性6.2%となっている。『周知率』は男性47.1%、女性37.7%となっており、男性の割合は女性と比べ9.4ポイント高い。



【性・年代別】

『閲読・視聴率』は男女とも70歳以上で最も高く、男性20.8%、女性13.2%であり、女性の20・40歳代ではそれぞれ0.7%、0.8%となっている。

『周知率』は男性では70歳以上（61.2%）、女性では60歳代（50.9%）で最も高く、女性の20～40歳代では30.0%を下回っている。



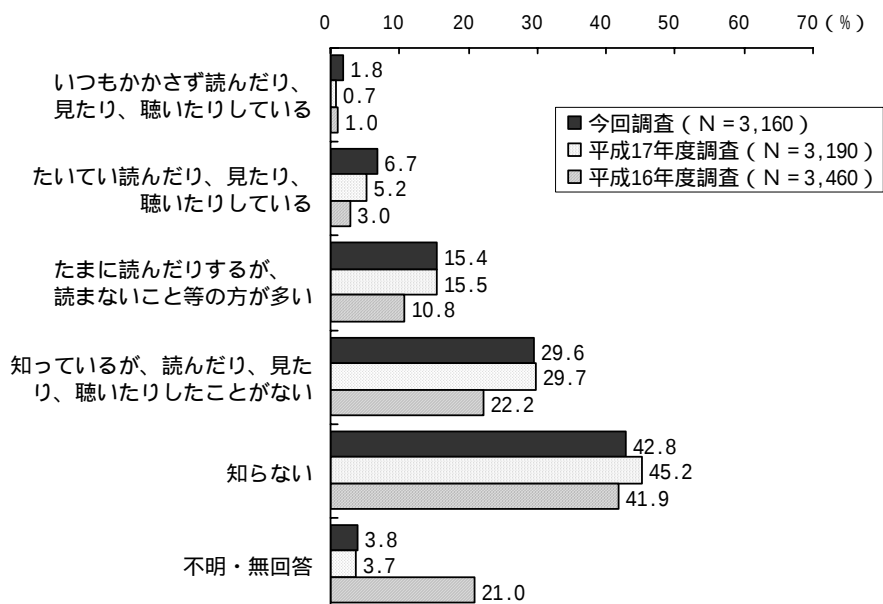
テレビ番組「県議会放送」(びわ湖放送 年7回程度)

■ 閲読・視聴率は8.4%、周知率は53.4%

テレビ番組「県議会放送」については、「知らない」が最も多く42.8%で、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が29.6%となっている。

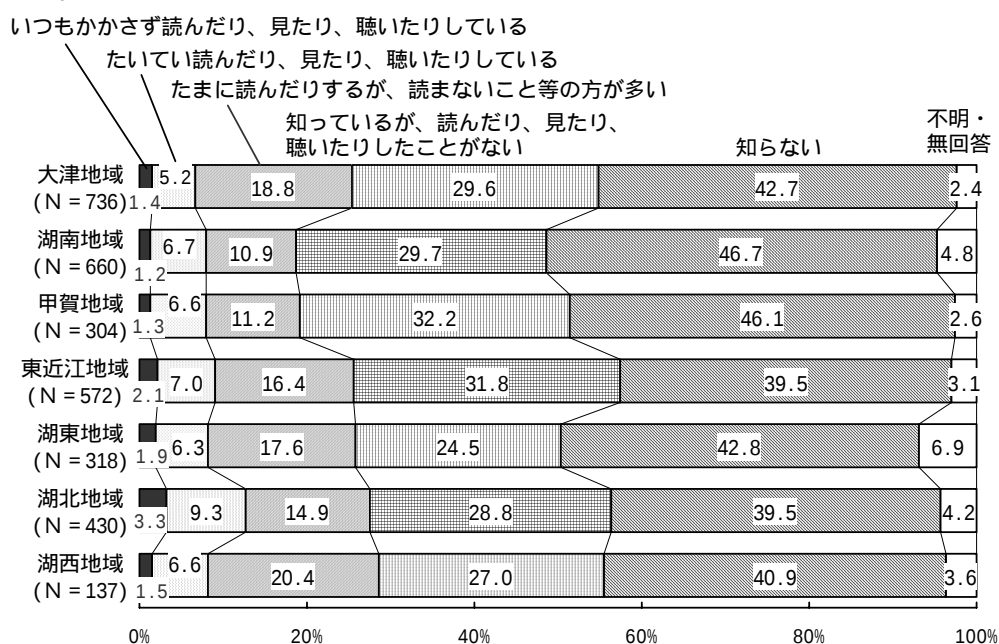
「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は1.8%となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は2.5ポイント高くなっており、『周知率』も2.3ポイント高くなっている。



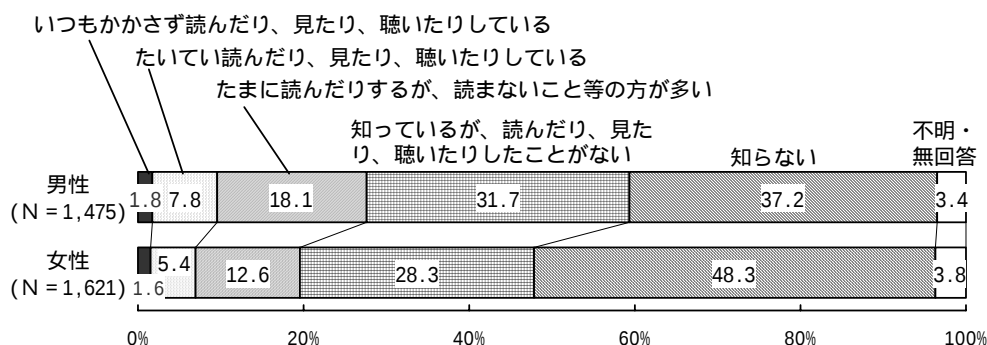
【地域別】

『閲読・視聴率』は、最も高い湖北地域で12.6%となっているほかは一桁台となっている。
『周知率』は、全ての地域で50.0%前後となっており、東近江地域では最も高い57.3%となっている。



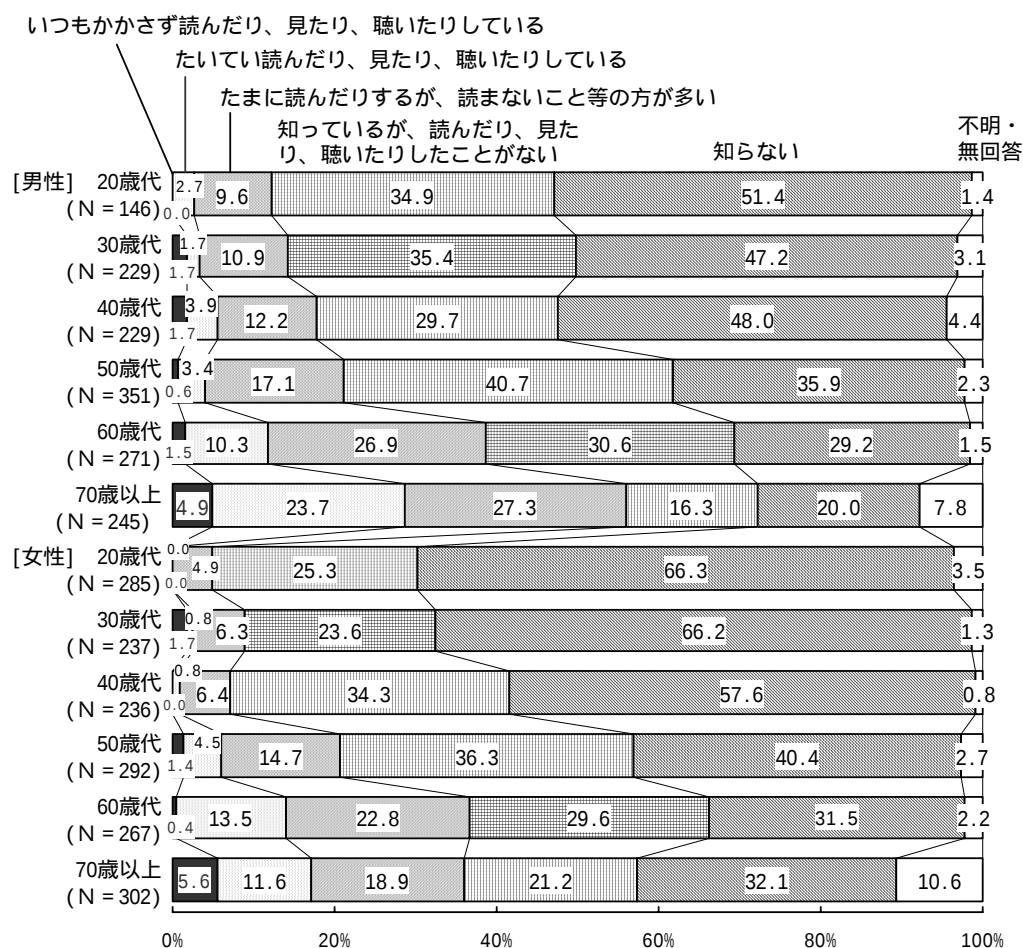
【性別】

『周知率』は男性59.4%、女性47.9%となっている一方、『閲読・視聴率』は男性9.6%、女性7.0%となっている。



【性・年代別】

『閲読・視聴率』は男女とも70歳以上で最も高くなっているが、男性の20～50歳代、女性の20～50歳代ではそれぞれ一桁台となっている。『周知率』は男性では年代が高くなるほど割合は高くなり70歳以上で72.2%となっている。女性では60歳代が最も高く66.3%となっている。



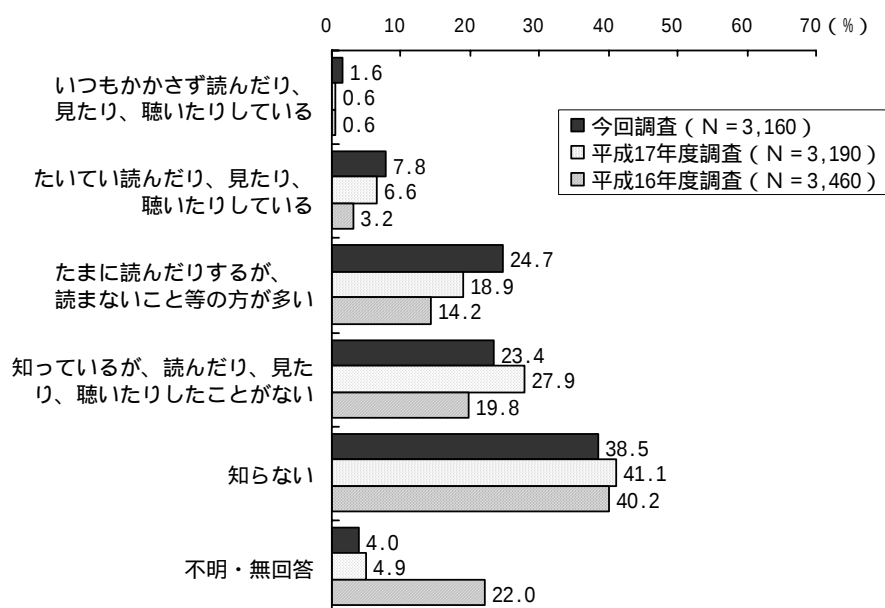
テレビ番組「教育ウイークリーレポート」(びわ湖放送 毎週月曜日 21:00~21:15)

■ 閲読・視聴率は9.4%、周知率は57.5%

テレビ番組「教育ウイークリーレポート」については、「知らない」が最も多く38.5%で、次いで「たまに読んだりするが、読まないこと等のほうが多い」が24.7%となっている。

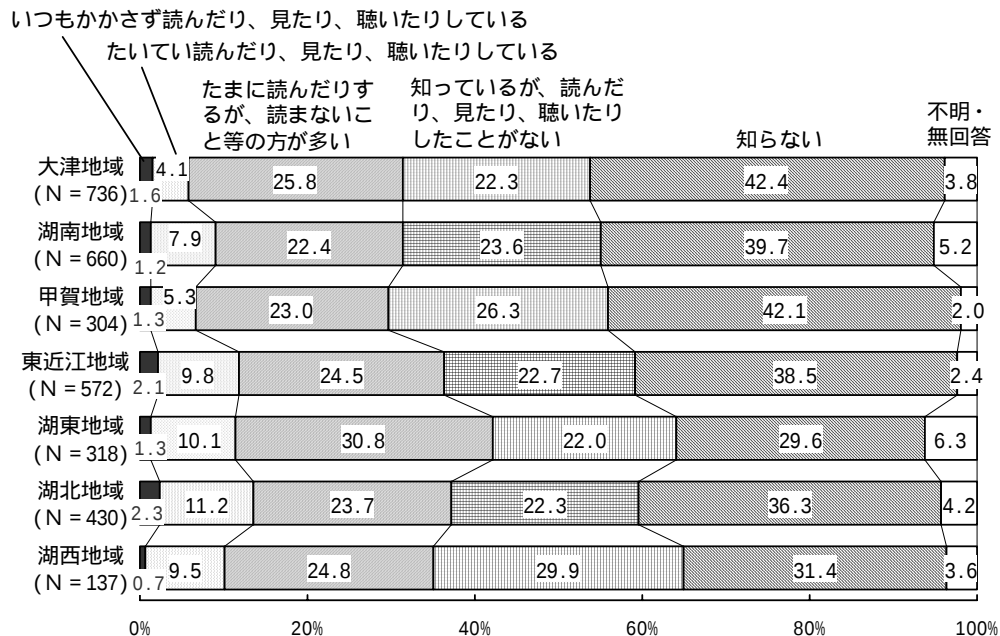
「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は1.6%となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は2.2ポイント高くなっており、『周知率』も3.5ポイント高くなっている。



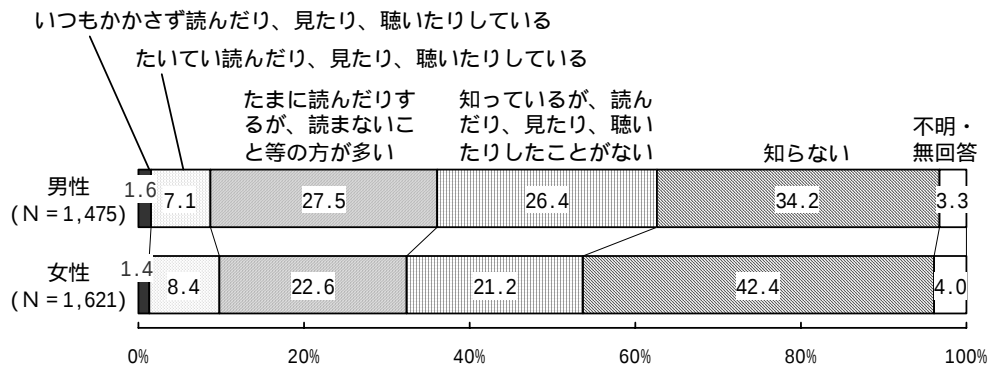
【地域別】

『閲読・視聴率』は湖北地域で13.5%と最も高くなっているが、大津・湖南・甲賀地域では一桁台となっている。『周知率』はいずれの地域も半数以上を占めており、湖西地域で65.0%と最も高く、僅差で湖東地域が64.2%で続いている。



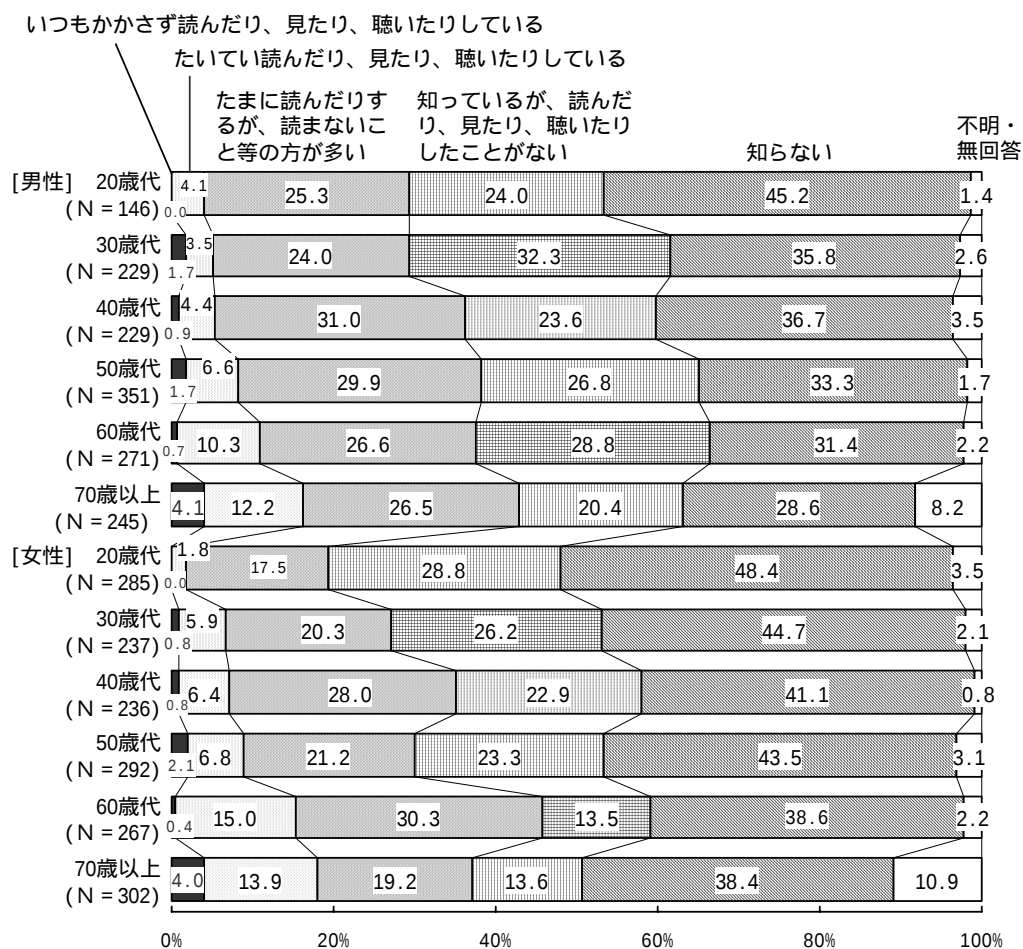
【性別】

『閲読・視聴率』は男女とも一桁台で、男性8.7%、女性9.8%と女性のほうが1.1ポイント高いが、『周知率』は男性62.6%、女性53.6%で男性のほうが9.0ポイント高くなっている。



【性・年代別】

『閲読・視聴率』は男女とも60歳未満の各年代で一桁台となっており、若い年代ほど低くなっている。『周知率』は男女とも60歳代で最も高く、男性66.4%、女性59.2%となっているが、女性の20歳代では48.1%となっている。

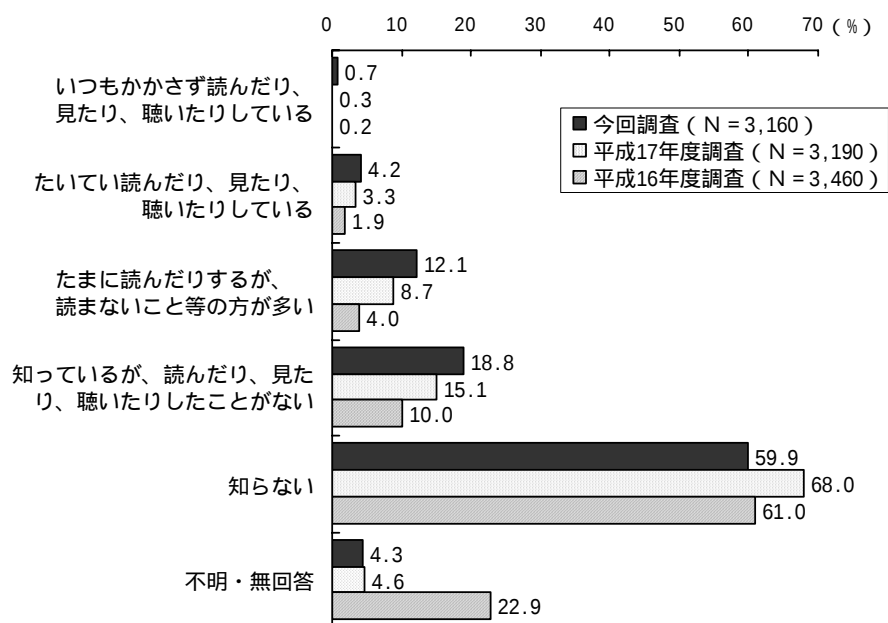


ラジオ番組「滋賀プラスワンインフォメーション」(FM滋賀 毎週月・水・金曜日 18:34 ~ 18:39)

■ 閲読・視聴率は4.9%、周知率は35.7%

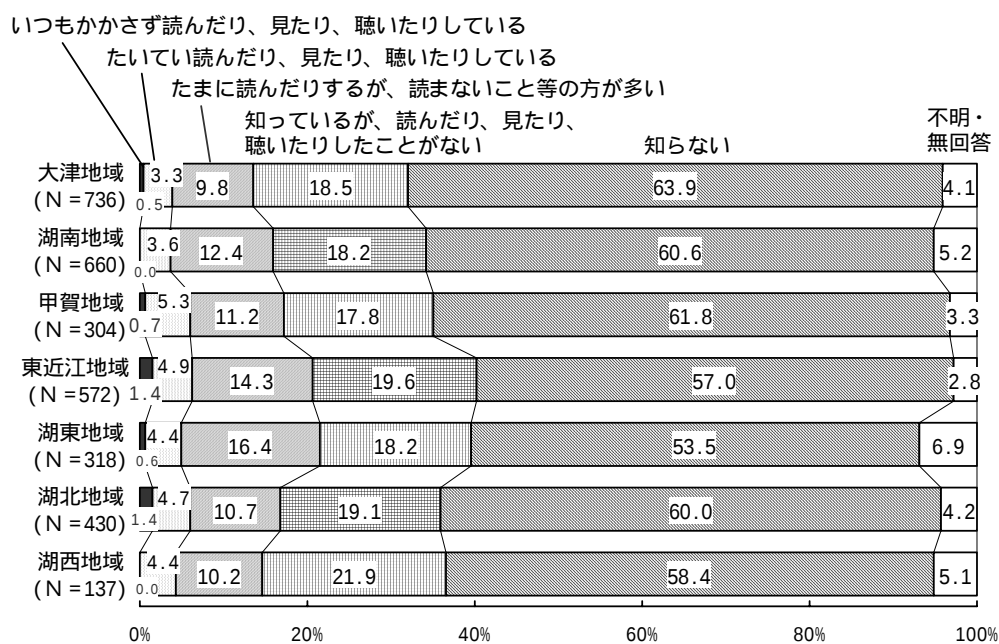
ラジオ番組「滋賀プラスワンインフォメーション」については、「知らない」が最も多く59.9%で全体の約6割を占めている。次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が18.8%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は0.7%となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は1.3ポイント高くなっており、『周知率』も8.3ポイント高くなっている。



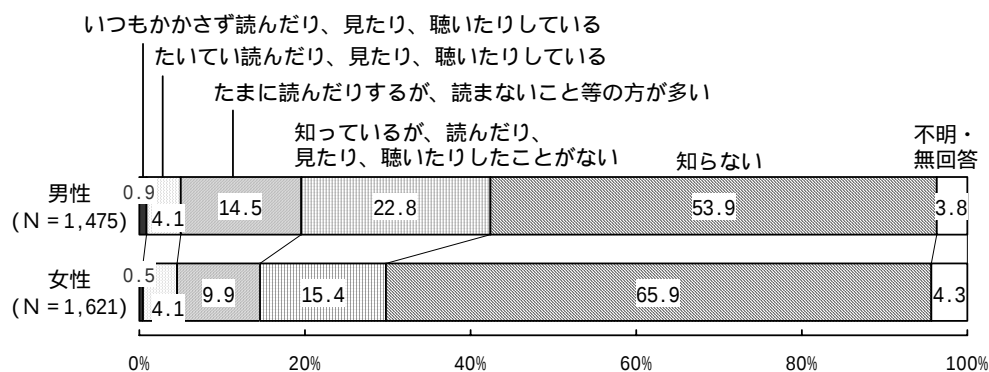
【地域別】

『閲読・視聴率』、『周知率』とも東近江地域で最も高く、それぞれ6.3%、40.2%となっている。



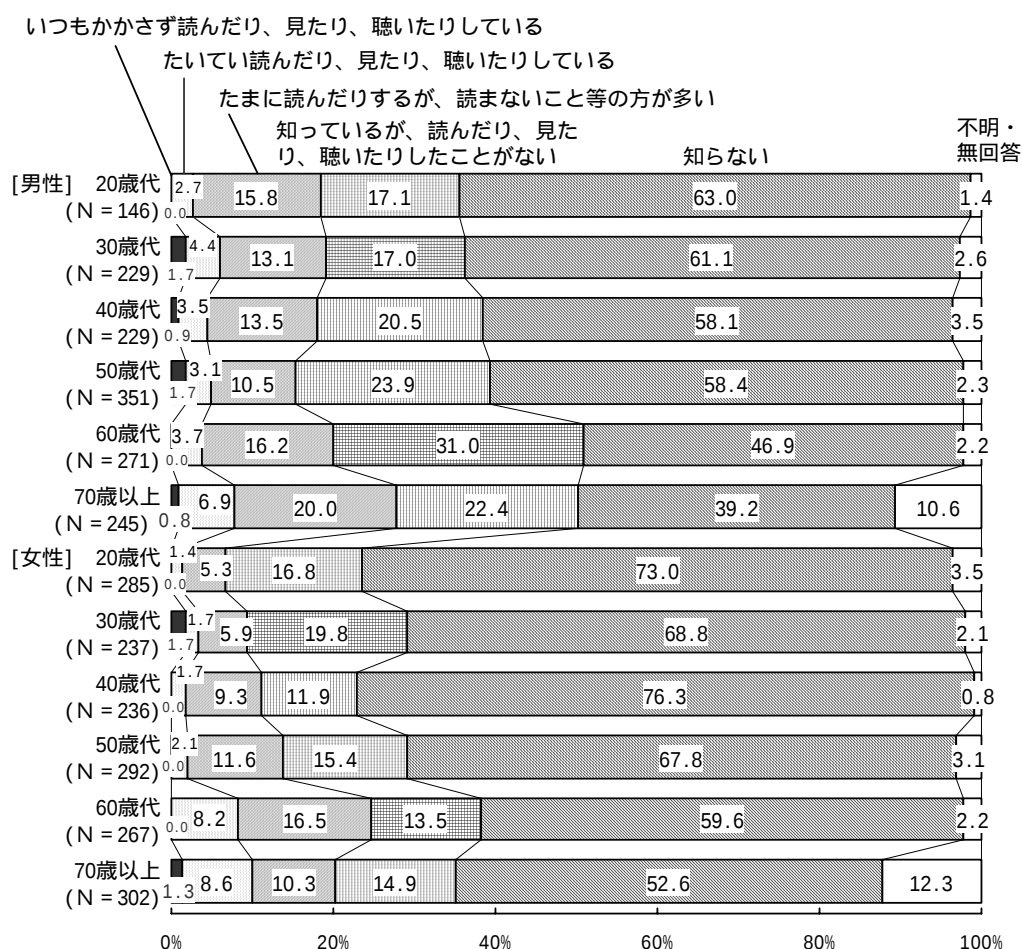
【性別】

『周知率』は男性42.3%、女性29.8%となっており、男性は女性よりも12.5ポイント高い。一方、『閲読・視聴率』は男女とも5.0%程度で、男女の差は0.4ポイントである。



【性・年代別】

『閲読・視聴率』は男女とも70歳以上が最も高く、男性7.8%、女性9.9%となっている。
『周知率』は男女とも60歳代で最も高く男性50.9%、女性38.2%となっている。

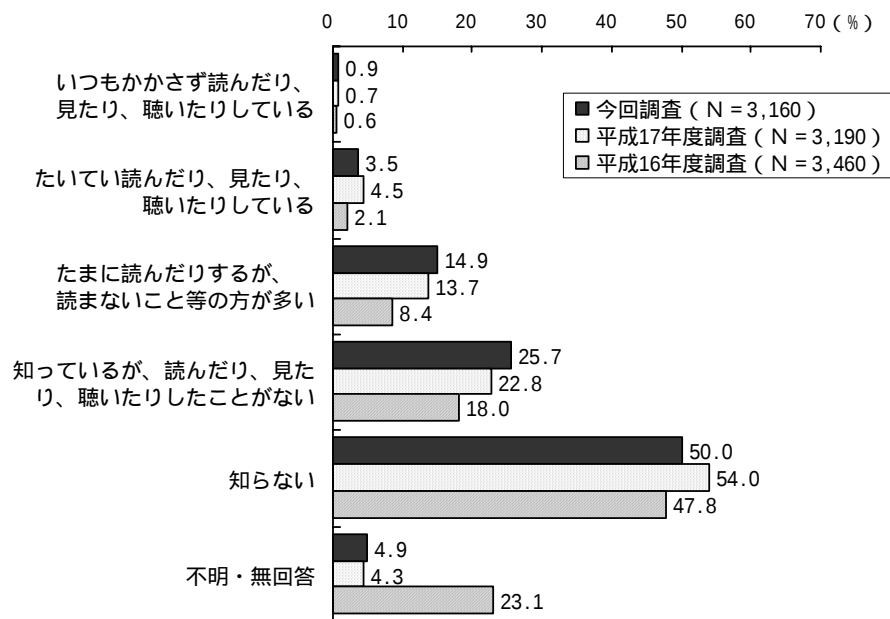


滋賀県インターネットホームページ

■ 閲読・視聴率は4.4%、周知率は45.0%

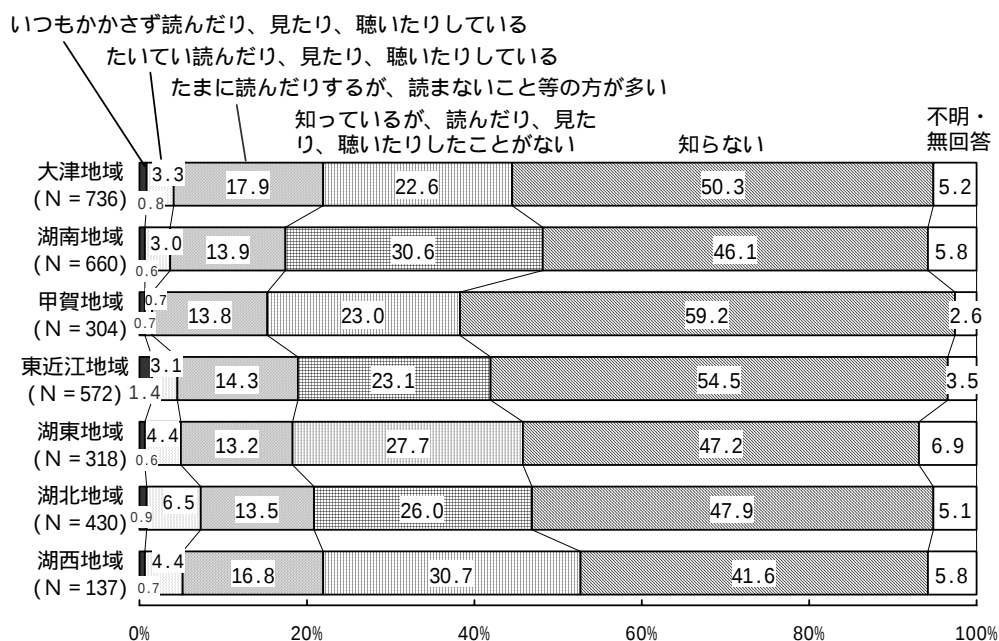
滋賀県インターネットホームページについては、「知らない」が最も多く50.0%で、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が25.7%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は0.9%となっている。

平成17年度調査と比較すると、『閲読・視聴率』は0.8ポイント低下しているが、『周知率』は3.3ポイント高くなっている。



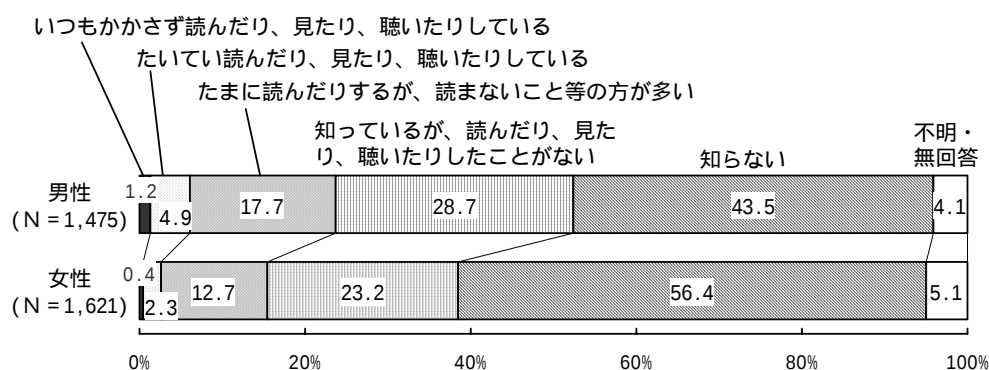
【地域別】

『閲読・視聴率』は湖北地域で最も高く、7.4%となっている。一方、『周知率』は湖西地域で最も高い52.6%となっており、次いで湖南地域が48.2%となっている。



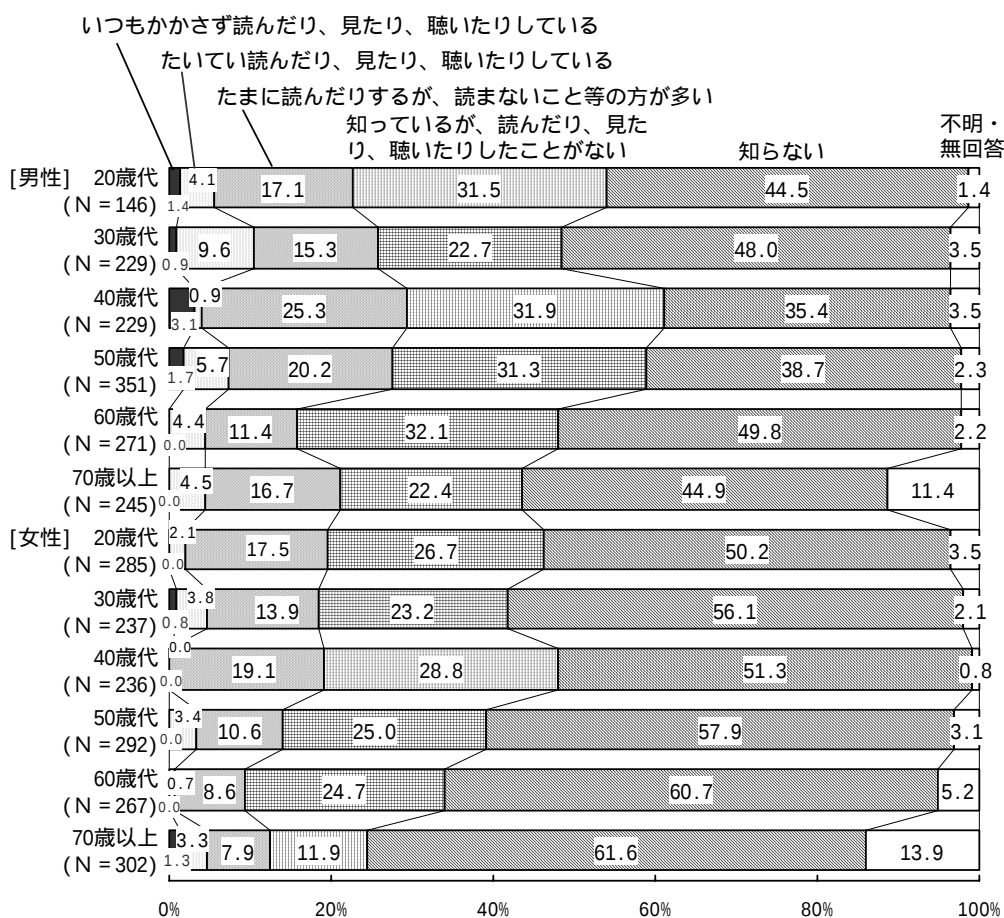
【性別】

『周知率』は男性が52.5%となっており、女性（38.6%）より13.9ポイント高くなっている。『閲読・視聴率』は男性が6.1%、女性が2.7%となっている。



【性・年代別】

『閲読・視聴率』は、男性の30歳代が最も高く10.5%で、女性では30歳代と70歳以上が4.6%で最も高い。一方、『周知率』は男性では40歳代が61.1%で最も高く、女性では40歳代が47.9%で最も高くなっている。



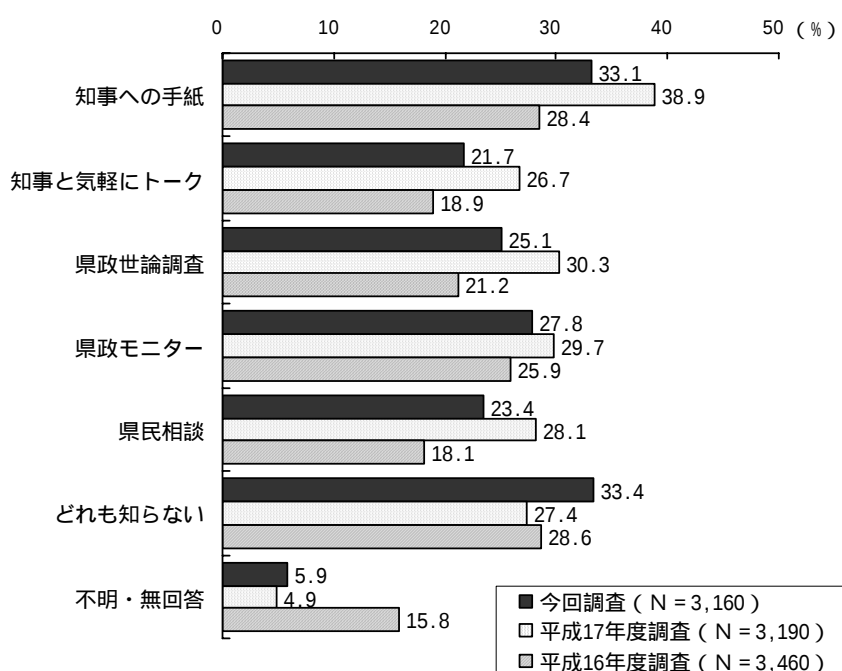
(2) 県の広聴活動の認知状況

問10 県では様々な機会を通じて、県民の皆さんのご意見やお気づきになったことをお聴きしようと努めていますが、あなたは次にあげる県の広聴活動について知っていますか。(○はいくつでも)

■ 「知事への手紙」が33.1%

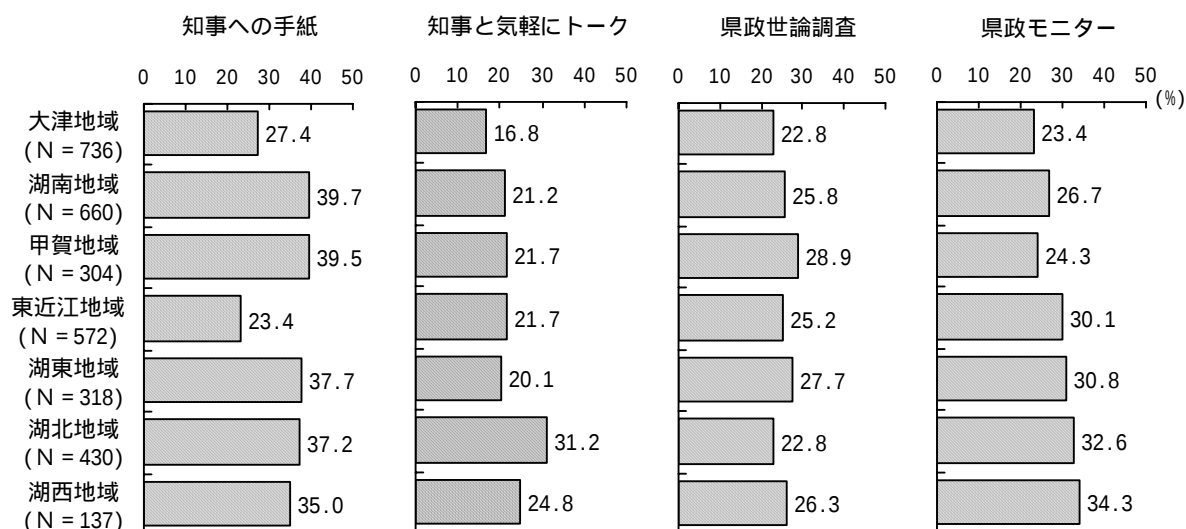
県が実施している広聴活動の認知度については、「知事への手紙」が最も高く33.1%で、次いで「県政モニター」が27.8%、「県政世論調査」が25.1%、「県民相談」が23.4%、「知事と気軽にトーク」が21.7%となっている。また、「どれも知らない」が33.4%で最も高くなっている。

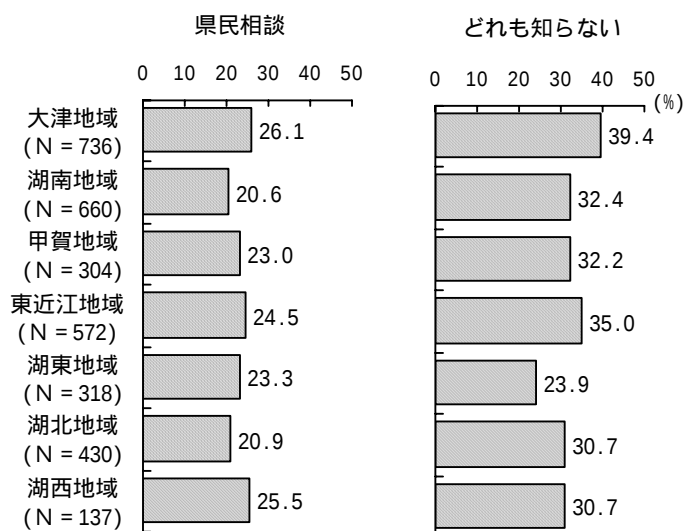
平成17年度調査と比較すると、「知事への手紙」は5.8ポイント、「県政世論調査」は5.2ポイント低下している。



【地域別】

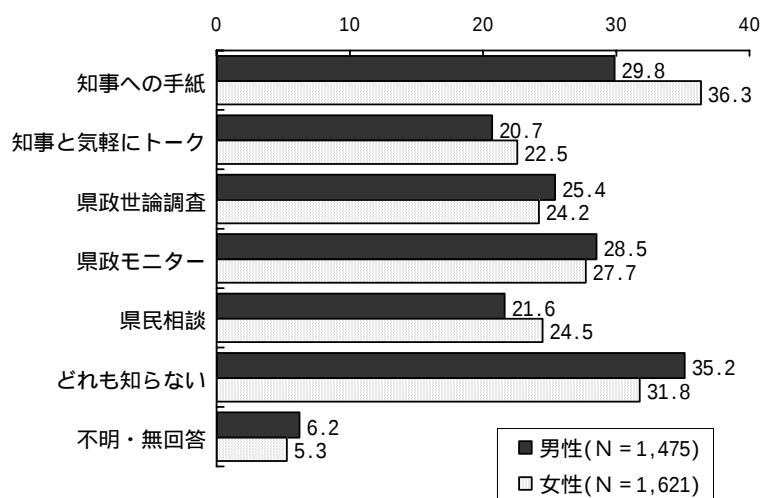
大津・東近江以外の地域では「知事への手紙」が最も高く、35.0%以上となっており、大津・東近江地域では「どれも知らない」が最も高くなっている。





【性別】

男性では、「どれも知らない」が35.2%で最も高く、次いで「知事への手紙」が29.8%となっている。女性では「知事への手紙」が36.3%で最も高く、次いで「どれも知らない」が31.8%となっている。「知事への手紙」は6.5ポイント、「知事と気軽にトーク」は1.8ポイント、「県民相談」は2.9ポイント、それぞれ男性より女性のほうが高くなっている。



【性・年代別】

男性の50歳代では「県政モニター」、60歳以上では「知事への手紙」がそれぞれ最も高くなっている。女性では、40～60歳代で「知事への手紙」が最も高くなっている。また、男性の20～40歳代、女性の20～30歳代、70歳以上で「どれも知らない」が最も高くなっている。

